

第 117 回 学長定例記者会見

日時：令和2年1月31日（金）10：30～11：00

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 2020 年 1 月に広島大学病院遺伝子診療科を設置しました
～ がんゲノム医療拠点病院としての体制整備 ～
2. 広島大学で初めての国際連携専攻（ジョイント・ディグリー・プログラム）を令和2年10月に設置します
～ SDGs 達成に向けた、欧州の大学との連携による新しい国際共同教育課程の設置 ～
3. 広島大学のマスコットキャラクター誕生
～ 有限会社 IC4DESIGN 代表 カミガキ ヒロフミさんがデザイン ～

【お知らせ】

1. 「放射線災害・医科学研究拠点」が県民公開大学（郡山）と国際シンポジウム・ワークショップ（広島）を開催します
2. 「AI を活用した保健指導システム研究推進事業」の「成果報告シンポジウム」を2月14日（金）に開催します
3. 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターキックオフシンポジウムを2月8日（土）に開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和2年2月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス



令和 2 年 1 月 31 日

**2020 年 1 月に広島大学病院遺伝子診療科を
設置しました**
～がんゲノム医療拠点病院としての体制整備～

2019 年 6 月に「がんゲノム医療」が保険適用となり、9 月には全国で 34 施設指定された「がんゲノム医療拠点病院」に本院が選ばれました。新しいがん診療体制の構築ならびに人材育成(2021 年度からの学生受入れを目指して「認定遺伝カウンセラー養成コース」の設置を申請予定)において重要な役割を担います。

「がんゲノム医療」では、手術で切除したり生検で採取したがん組織から遺伝子を抽出し、最新の遺伝子解析装置(次世代シーケンサー)で 100～300 種類の遺伝子の変化を解析する「がん遺伝子パネル検査」によって、どの遺伝子に変化があるかを調べます。この検査結果は非常に複雑なので、エキスパートパネルという専門家の検討会で話し合い、どの遺伝子を治療標的にするのがよいのか、どの施設でその治療を受けることができるかなどを調べ、それらの情報をレポートにまとめて主治医に報告します。主治医はそのレポートをもとに、患者さんにあった治療の情報を提供します。

2020 年 1 月に設置した遺伝子診療科では、診療科長を始め、認定遺伝カウンセラー 2 人、コーディネーター 1 人、情報管理部門と事務の 4 人が専任で対応します。

また、小児科、産婦人科、神経内科、小児外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科などの遺伝子診療の専門知識を持つ臨床遺伝専門医が併任で診療を行っています。

これまでの遺伝子診療部では、出生前診断、先天異常、神経疾患などに対応してきましたが、次世代シーケンサーの時代となり、未診断疾患イニシアチブやがんゲノム医療、遺伝性腫瘍などの新しいゲノム医療の領域も対象として拡大していることにかんがみ、幅広く診療に取り組んで参ります。

【お問い合わせ先】

病院遺伝子診療科

診療科長 檜井 孝夫(ひのい たかお)

TEL: 082-257-5965 FAX: 082-257-1762



令和 2 年 1 月 31 日

広島大学で初めての国際連携専攻（ジョイント・ディグリー・プログラム）を令和 2 年 10 月に設置します

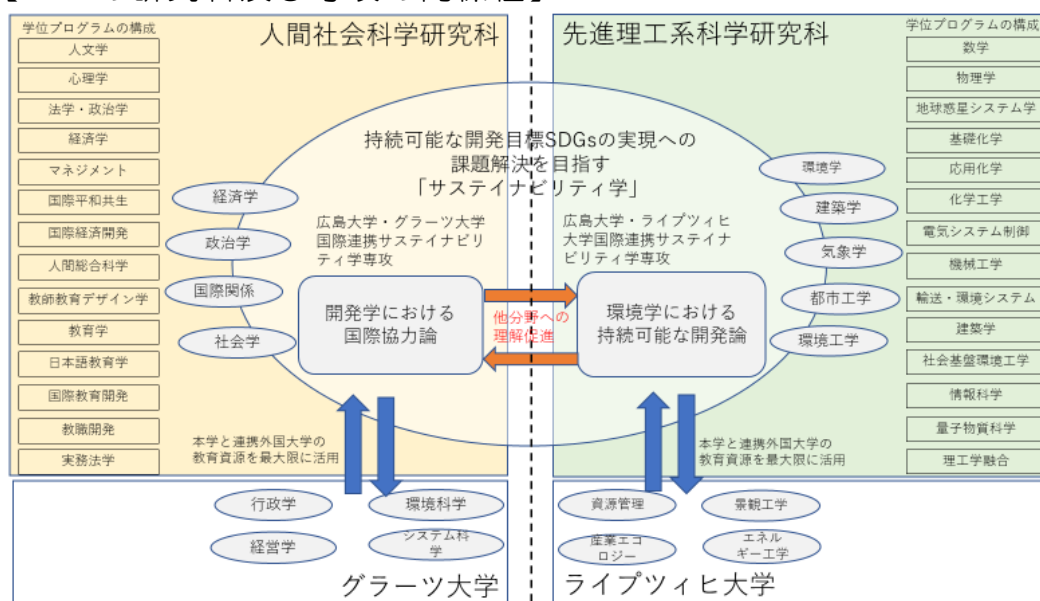
SDGs 達成に向けた、欧州の大学との連携による新しい国際共同教育課程の設置

広島大学では、令和 2 年 10 月に「大学院人間社会科学研究科広島大学・グラーツ大学国際連携サステナビリティ学専攻」及び「大学院先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステナビリティ学専攻」を開設します。広島大学にとって初めての国際連携専攻（ジョイント・ディグリー・プログラム）です。

※ジョイント・ディグリー・プログラムとは

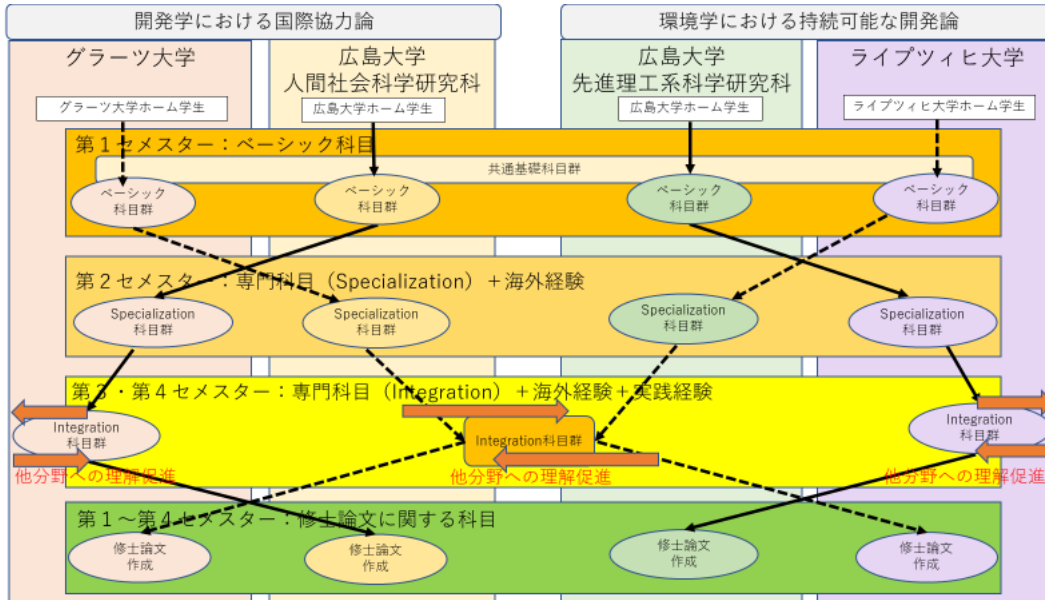
連携する大学間で開設された共同プログラムを修了した際に、複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの

【二つの研究科及び専攻の関係性】



上記 2 つの専攻では、それぞれ本学と相手大学が共通の教育課程を構築し、双方の教員が協働して研究指導を行うことにより、両大学の特色ある教育を学生に提供することが可能となります。また、2 年間の教育課程のうち、1 年間を外国の大学で学ぶことで、広い視野、複眼的な思考や他者と協働して課題解決に取り組む能力を、異文化を背景とした学生と切磋琢磨する中で、身に付けることが可能となります。

【学生の履修の流れ】



●大学院人間社会科学研究科広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

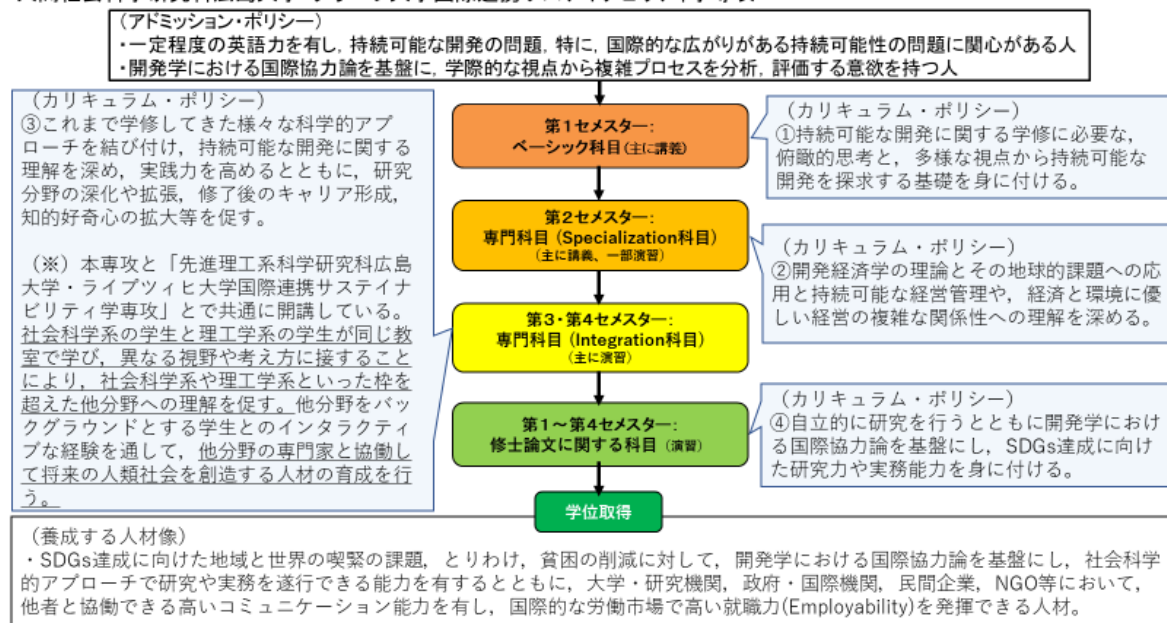
本学とオーストリアのグラーツ大学が共同して2年間の修士課程を実施し、学生は広島大学とグラーツ大学で1年間ずつ学修します。修了者には、両大学共同で単一の学位「修士（学術）」を授与します。入学定員は2名（広島大学をホーム大学とする学生1名、グラーツ大学をホーム大学とする学生1名）です。

本専攻は、「サステイナビリティ学」をテーマとし、次のような人材を養成します。

SDGs 達成に向けた地域と世界の喫緊の課題、とりわけ貧困の削減に対して開発学における国際協力論を基盤にし、社会科学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力や、大学・研究機関、政府・国際機関、民間企業、NGO 等において他者と協働できる高いコミュニケーション能力を有し、国際的な労働市場で高い就職力（Employability）を発揮できる人材

【育成する能力】

人間社会科学研究科広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻



●大学院先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻

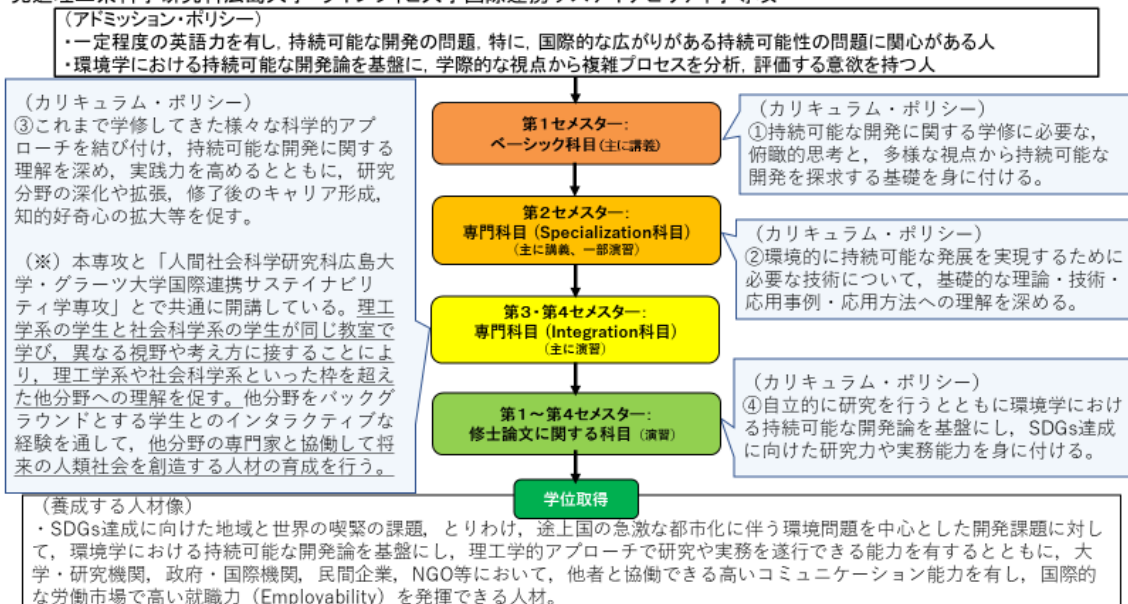
本学とドイツのライプツィヒ大学が共同して2年間の修士課程を実施し、学生は広島大学とライプツィヒ大学で1年間ずつ学修します。修了者には、両大学共同で単一の学位「修士（学術）」を授与します。入学定員は2名（広島大学をホーム大学とする学生1名、ライプツィヒ大学をホーム大学とする学生1名）です。

本専攻は、「サステイナビリティ学」をテーマとし、次のような人材を養成します。

SDGs 達成に向けた地域と世界の喫緊の課題、とりわけ途上国の急激な都市化に伴う環境問題を中心とした開発課題に対して、環境学における持続可能な開発論を基盤にし、理工学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力や、大学・研究機関、政府・国際機関、民間企業、NGO 等において他者と協働できる高いコミュニケーション能力を有し、国際的な労働市場で高い就職力（Employability）を発揮できる人材

【育成する能力】

先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻



【お問い合わせ先】

広島大学 国際室 国際交流グループ
TEL：082-4 24-6045
FAX：082-4 24-6179



令和 2 年 1 月 3 1 日

広島大学のマスコットキャラクター誕生

この度、広島大学マスコットキャラクターが誕生しました。

キャラクターデザインは、広島を拠点に活躍するデザイナーのカミガキ ヒロフミさん（有限会社 IC4DESIGN 代表）によるものです。

3 案の中から、学内投票により、以下のデザインに決定しました。今後は、キャラクターのニックネームを学内公募で決め、部活動やイベント広報、グッズなどに活用していく予定です。

＜決定したデザイン＞

広島大学のシンボルであるフェニックスの葉が、幾多の困難を乗り越え大きく育ち、やがて、不死鳥フェニックスのようにたくましく大空へ羽ばたいていく姿を学生に重ね合わせ、デザインに落とし込みました。



ベーシックデザイン

（エンブレムなどを想定した「静」のデザイン）



キャラクター

（SNS やグッズなどの利用を想定した「動」のデザイン。ベーシックデザインをデフォルメしたもの）

【お問い合わせ先】

財務・総務室 広報部

部長 畑尾 武海（はたお たけみ）

TEL：082-424-4657 FAX：082-424-6040



(左から二人目)

カミガキヒロフミ 1966年生まれ 九州産業大学芸術学部卒。

2006年 有限会社IC4DESIGN設立。現在5名。広島を拠点に、日本だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、中東などの仕事も手がけ、国内外を問わない活動を行っている。

The New York Times Magazineのカバーイラストを経て、2010年全米の鉄道の祭典、National Train Dayのメインイラストレーターに就任。同年5月、広島のGallery Gにて個展を開催、1600人を動員。

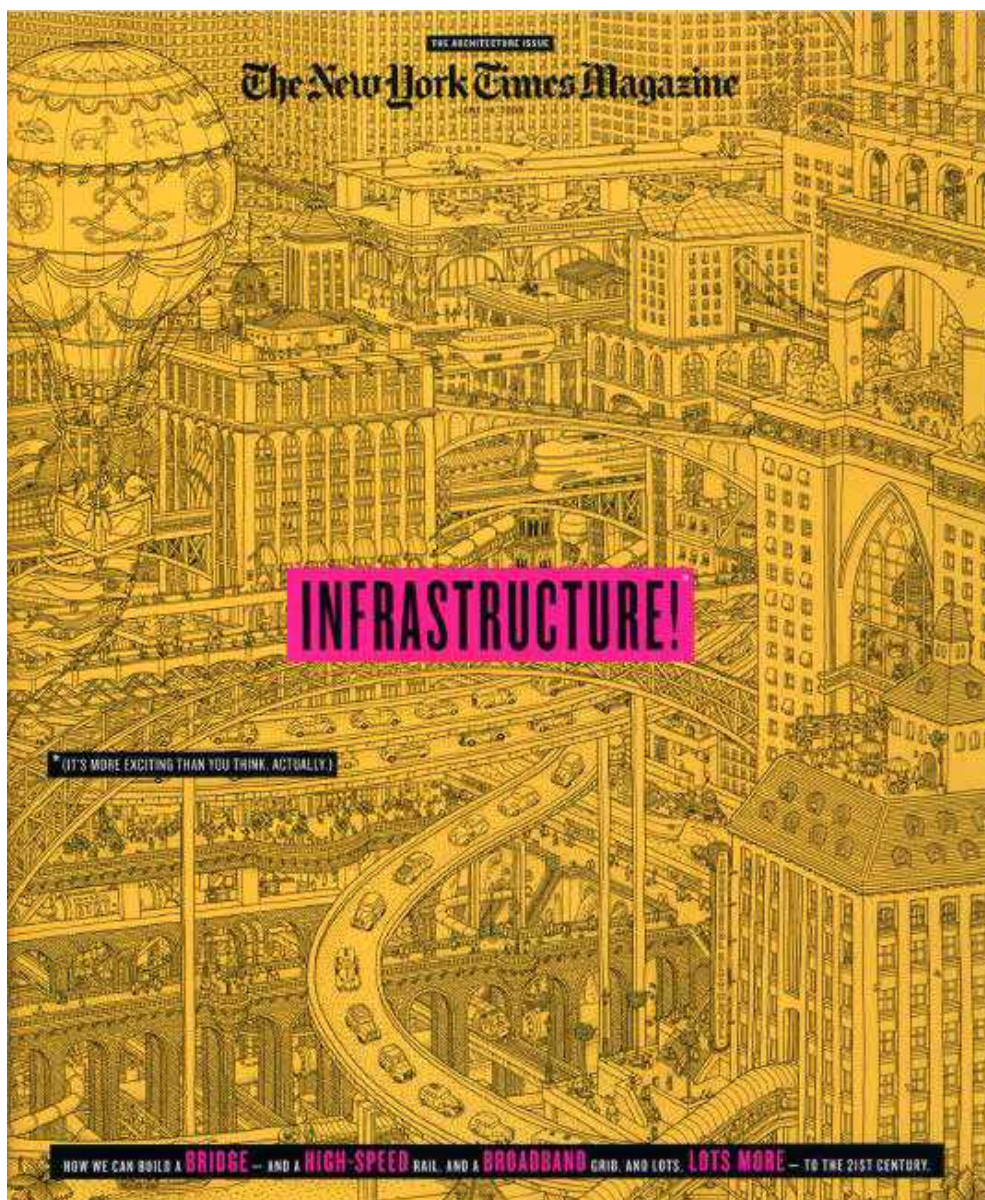
2013年メルセデスベンツ (Türk) のキャンペーンイラストレーション、同年3月 「瀬戸内フルーツジュレ」est-etto (アラハタ) のブランドコンセプトおよびパッケージデザイン、同年5月 Googleの新しいコミュニケーションツール"ハングアウト"の絵文字を制作。世界中のユーザーに利用されている。2014年、迷路本というカタチを借りて、子供の頃の夢を叶えた絵本「迷路探偵ビエール」を制作。同年に国内版、15年9月に海外版 (25言語、30カ国以上) を出版。パートのスノーボードグラフィックに採用 (2016年、2017年全世界向けキッズモデル"AFTER SCHOOL SPECIAL")。

主な仕事実績

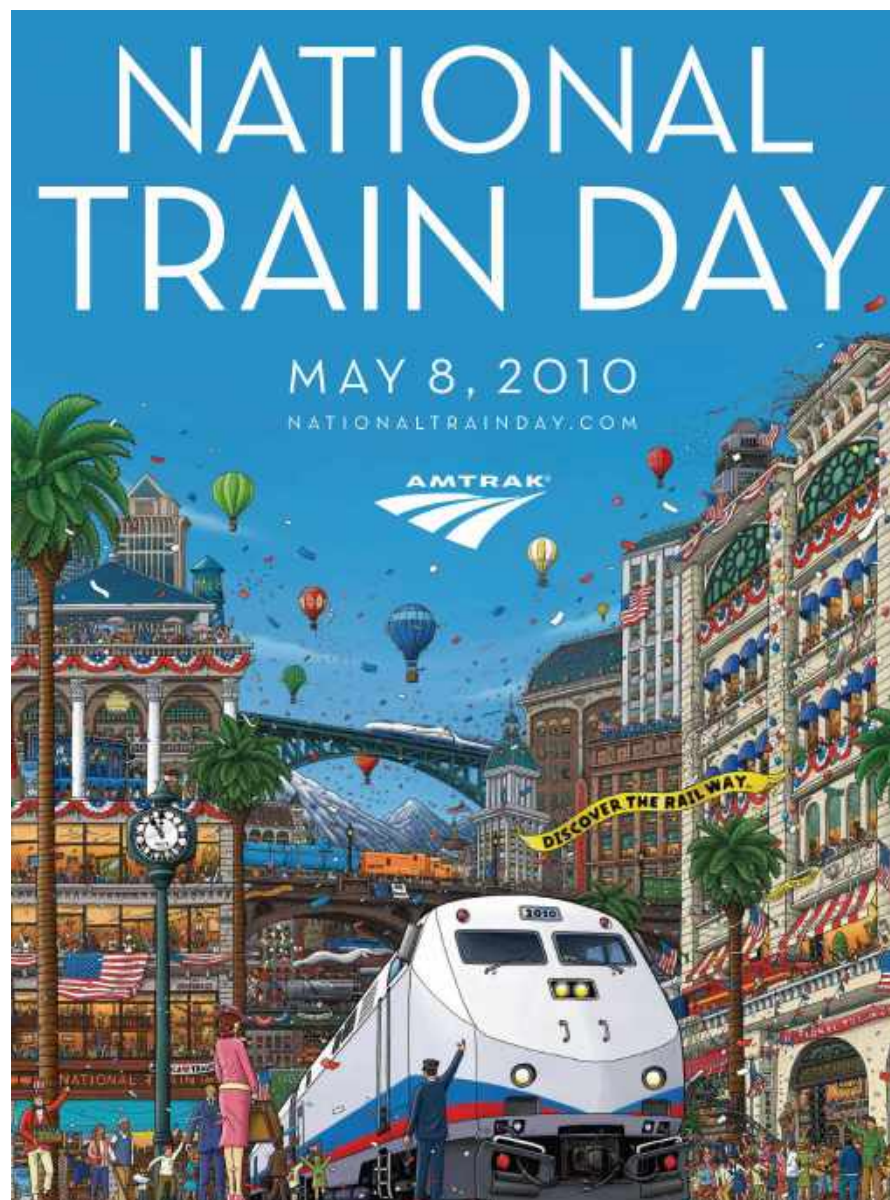
グーグル、国連、アドビシステムズ、メルセデスベンツ、アムトラック、ニューヨークタイムズマガジン、アムトラック、ニュースウィーク、マーズコーポレーション、新潮社、小学館、KITTE、JR西日本、青森銀行、ひろしま菓子博2013、広島空港、アラハタ株式会社 他

主な受賞歴

●ADC 89 デザイン・プリント/イラストレーション部門 銀賞(America) ●ADC 91 イラストレーション部門 入選●3x3ProShow No.13 金賞 ●TASCHEN / Illustration Now! Vol. 4および 2013掲載 ●Illustration Annual 52 入選(America)●ドバイ Lynx 2013 インタラクティブ 銅賞 ●ドバイ Lynx 2012 プリント & ポスター クラフト キャンペーン 銅賞●イラストレーション通信 金賞 ●日経広告賞 コーポレートブランド広告賞 優秀賞 他



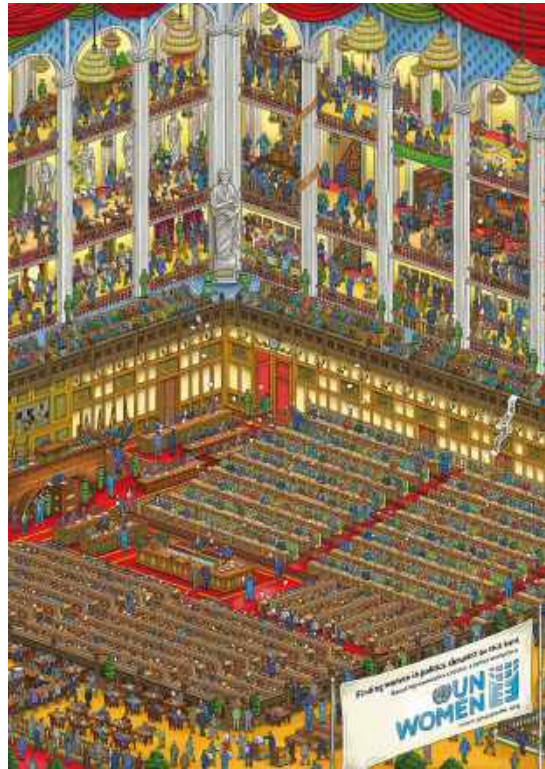
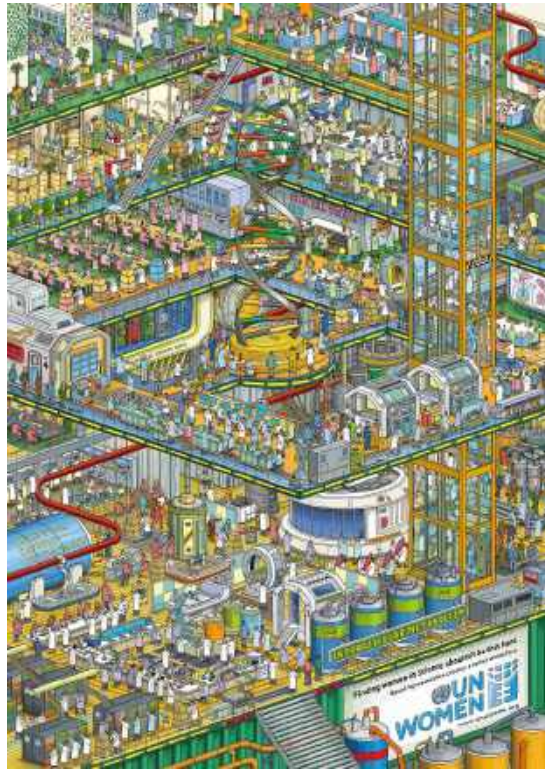
The New York Times Magazine Cover Illustration



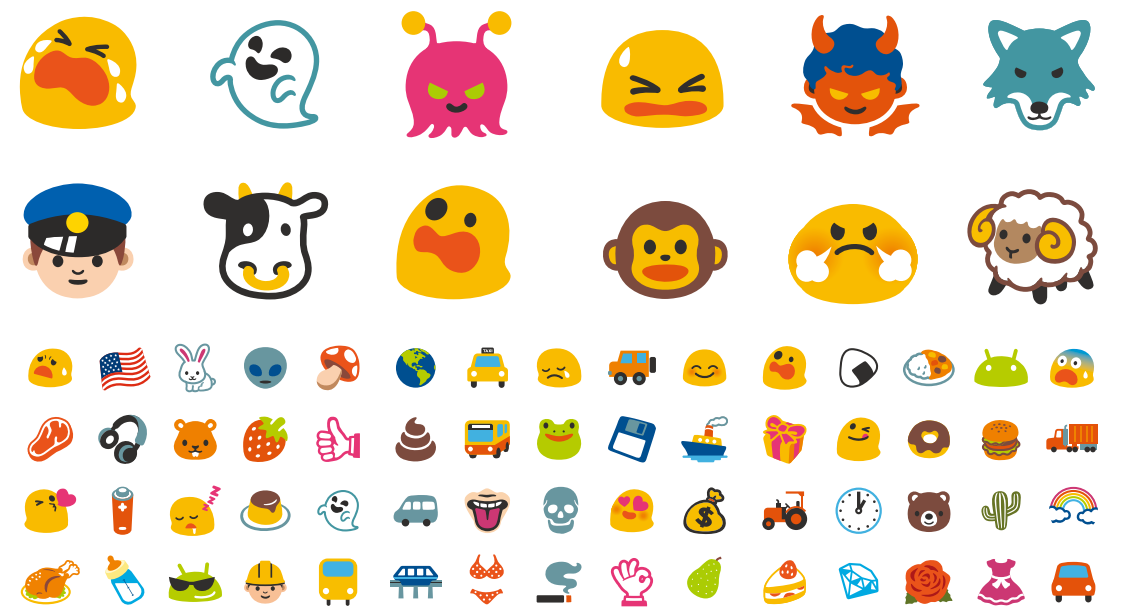
National Train Day

全米180カ所以上で行われる全米の鉄道の祭典。主要各駅、いたるところへの横断幕やポスター掲示の他、チラシ、DM、各種グッズ、各都市のビルボードやロードサイン等にもIC4DESIGNのイラストが使用された。





国連 国連の女性地位向上キャンペーンのためのイラスト



Google Google Hangouts “Emoji”

アメリカ、Google本社からの依頼でNEWコミュニケーションツール”Hangouts”の絵文字を開発・制作。

Android,Gmailなどを通じて世界中のユーザーに利用されている。



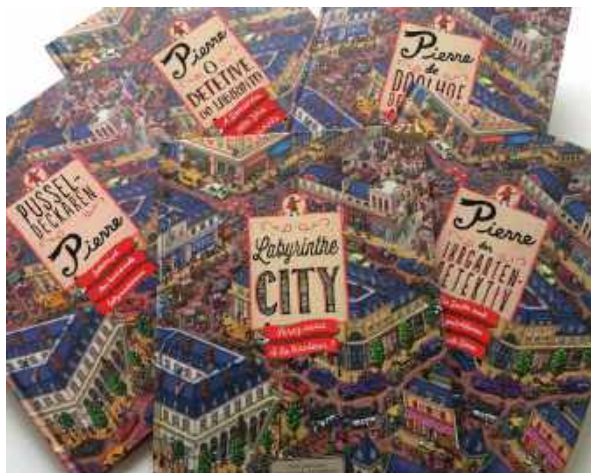
Mercedes-Benz Türk メルセデスベンツ (Türk) のキャンペーンイラストレーション。



NFL SUPER BOWL XLVII CHALLENGE (America)



BUTON AFTER SCHOOL SPECIAL 2016



Pierre The Maze Detective イギリスのLaurence King社と契約し、世界30か国以上で出版。



TIPS TIPS LOFTを始めとした全国のステーションナリーショップで販売中。



令和 2 年 1 月 3 1 日

「放射線災害・医科学研究拠点」が県民公開大学（郡山）と
国際シンポジウム・ワークショップ（広島）を開催します

広島大学、長崎大学、福島県立医科大学によって平成 28 年 4 月に設置されたネットワーク型拠点「放射線災害・医科学研究拠点」は、令和 2 年 2 月に「第 4 回ふくしま県民公開大学」を福島県郡山市で、「第 4 回国際シンポジウム」・「第 1 回ワークショップ」を広島市で開催します。

第 4 回ふくしま県民公開大学（主管校：福島県立医科大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 9 日（日） 13:00～15:15
場 所 : 郡山市中央公民館（福島県郡山市麓山一丁目 8-4）

「ふくしまで歩む 未来へつなぐ」をテーマに、拠点内で実施している共同利用・共同研究の成果発表等を県民の皆さんと共有することにより、今後の復興の一助とすることを目指します。

第 4 回国際シンポジウム（主管校：広島大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 12 日（水）10:00～18:40
場 所 : 広島大学広仁会館（広島市南区霞 1-2-3）

「How can we communicate possible health effects in radiological emergency?（放射線緊急時において生じ得る健康影響についてどう伝えるか?）」をテーマに、アメリカ、オーストリア、スイスなどの研究者を交え、講演やセッション、ポスター発表を行います。

放射線や関連諸科学の分野で世界的に著名な研究者による最先端の学術成果を踏まえ、更なる放射線災害・医科学研究の学術的基盤の確立を目指します。

第 1 回ワークショップ（主管校：広島大学）

日 時 : 令和 2 年 2 月 13 日（木）9:00～12:45
場 所 : 広島大学広仁会館（広島市南区霞 1-2-3）

全国の関連研究者から公募した共同利用・共同研究課題や 3 拠点機関が大学の枠を超えて連携し新たな課題に取り組んでいるトライアングルプロジェクトの成果発表に加え、ネットワーク型共同研究拠点間の連携に関する講演発表を行います。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ
放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
Tel: 082-257-5186
Fax: 082-255-8339

第4回
ふくしま県民公開大学

～ふくしまで歩む
未来へつなぐ～

日時 2020年

2月9日(日)

開場:12:30

開始:13:00

終了:15:15(予定)

会場

郡山市中央公民館 多目的ホール

(住所:〒963-8876 福島県郡山市麓山一丁目8-4)

主なプログラム

●セッション1 ふくしまで歩む

①筑波大学 准教授 五十嵐 泰正氏
『食』から考える原発事故後の市場と社会

②郡山女子大学 准教授 岡部 聡子氏
『小学生の『食選択力』の育成』

●セッション2 未来へつなぐ

①福島県立医科大学 助教 石井 佳世子氏
『福島で子どもを産み育てる、お母さんへのメッセージ』

②福島県立医科大学 助教 竹林 由武氏
『福島に生きる幸せ:イキイキとした生活を支える心理学』

「入場無料」

(事前登録制)

一般市民・学生・医療関係者
行政関係者の参加を
お待ちしております。

定員 300名

申込締切
2020年2月5日(水)

定員に達した場合は、締切日前に受付を終了させていただきます。

申込方法

お申し込みはホームページより▶
<https://www.fmu.ac.jp/univ/inv/>



問い合わせ先

福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係

電話:024-547-1794

FAX:024-581-5163

主催 放射線災害・医科学研究拠点



公立大学法人
福島県立医科大学



広島大学



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

共催 SDGs未来都市 郡山市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

後援 福島県、一般社団法人福島県医師会、公益社団法人福島県看護協会、福島民報社、福島民友新聞社

The 4th International Symposium of the Network-type Joint Usage/
Research Center for Radiation Disaster Medical Science

How can we communicate possible health effects in radiological emergency?

February 12, 2020

Koujin Conference Hall on
Kasumi Campus,
Hiroshima University

Keynote Lecture

Malcolm Crick (Austria)

Session 1

Radiation casualty medicine

Tom K. Hei (USA)
Koichi Tanigawa
Kiyoshi Miyagawa

Session 2

Low dose radiation effects and health risk study

Akira Ohtsuru
Takayuki Kadoya
Masahiro Nakashima

Session 3

Social impact of a radiation disaster and radiological protection studies

Bradley Hamm (USA)
Sae Ochi
Zhanat Carr (Switzerland)

主催

ネットワーク型共同利用・共同研究拠点
放射線災害・医科学研究拠点
広島大学原爆放射線医科学研究所
長崎大学原爆後障害医療研究所
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター

後援

放射線被曝者医療国際協力推進協議会 (HICARE)
長崎・ヒバクシャ医療国際協力会 (NASHIM)

お問い合わせ先

放射線災害・医科学研究拠点本部事務局
(広島大学霞地区運営支援部総務グループ)
Tel: +81-(0)82-257-5186
Fax: +81-(0)82-255-8339
E-mail: housai@hiroshima-u.ac.jp
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/housai/>



令和 2 年 1 月 3 1 日

「AI を活用した保健指導システム研究推進事業」の
「成果報告シンポジウム」を 2 月 14 日（金）に開催します

広島大学は、平成 29 年度から「AI を活用した保健指導システム研究推進事業」を進めてまいりましたが、その成果報告のシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

自治体や医療関係者をはじめ、一般の方も参加できるシンポジウムです。
みなさまのご参加をお待ちしております。

記

日 時 令和 2 年 2 月 14 日（金）13：00～16：20

場 所 広島県医師会館 201 会議室

参加費 無料 （定員 100 人まで）

対象者 一般、自治体、医療関係者、他

< 概 要 >

高齢化が進み社会保障費の増加が止まらないわが国において、地域住民の健康維持と疾病予防は喫緊の課題です。一方、政府が促すデータヘルス計画などの対策は、地方行政の人材不足などにより未だ展開半ばの感があります。

広島大学は AMED（日本医療研究開発機構）の支援を受けて、AI（人工知能）技術を応用することで、これらの問題を抜本的に解決する技術の開発を行ってきました。3 年間の事業期間を経てそのプロトタイプが完成いたしました。

今後の実用化を前に公開し、皆様のご意見やご批判を頂きたいと思い本シンポジウムを企画しました。

【お問い合わせ先】

広島大学トランスレーショナルリサーチセンター 担当：石橋、江口
広島市南区霞 1-2-3 TEL082-257-1976
e-mail:shin1484@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A 4 版 2 枚（本票含む）

AIを活用した 保健指導システム 研究推進事業

成果報告シンポジウム

高齢化が進み社会保障費の増加が止まらないわが国において、地域住民の健康維持と疾病予防は喫緊の課題であります。

一方政府が促すデータヘルス計画などの対策は、地方行政の人材不足などにより未だ展開半ばの感があります。

広島大学は AMED (日本医療研究開発機構) の支援を受けて、AI (人工知能) 技術を応用することで

これらの問題を抜本的に解決する技術の開発を行ってきました。3年間の事業期間を経てそのプロトタイプが完成いたしました。

今後の実用化を前に公開し、皆さまのご意見やご批判をいただきたいと思い本シンポジウムを企画しました。

2020年 **2月14日** 金 13:00～16:20
(受付開始 / 12:00～)

「自治体等保険者レセプトデータと健康情報等を基盤に AI を用いてリスク予測やターゲティングを行う
保健指導システムの構築」における各方面からの成果報告シンポジウムです。

医療分野においても幅広く AI が活用され、

患者を特性やリスクごとに選び出し、それに合わせた個別医療の提供が可能な時代に入りました。

この機会にぜひご参加いただき、近未来の医療について一緒に考えてみませんか。



AIを活用した保健指導システム 研究推進事業

成果報告シンポジウム

2020年 **2月14日** 金 13:00～16:20
(受付開始／12:00～)

定員 **100名** 対象 一般、自治体、医療関係者 他

費用 **参加費 無料**

会場 **広島県医師会館
201会議室**
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号



主催：国立大学法人 広島大学

共催：日本大学 理工学部、株式会社 データホライゾン、株式会社 OKEIOS、株式会社 DPPヘルスパートナース

協賛：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

後援：総務省

プログラム

13:00～13:05	開会のことば	広島大学 副学長・教授 木原 康樹
13:05～13:15	ごあいさつ	総務省 大臣官房審議官 赤澤 公省
13:15～13:45	(招待講演)「AI時代の医療データを見つめる」 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 准教授 矢作 尚久	
13:45～13:55	休憩	
13:55～14:10	「新たなヘルスケア提供システム」 〈集団全体を対象としたヘルスマネジメント〉 広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学 教授 森山美知子	
14:10～15:00	「AIを活用した保健指導システム研究推進事業」 広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学 助教 加澤 佳奈	
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:10	座談会「医療とAIの近未来について」 座長 広島大学 副学長・教授 木原 康樹 広島県商工労働局 地域産業IoT等活用推進プロデューサー 中井 哲也 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 准教授 矢作 尚久 広島大学大学院医系科学研究科 教授 森山美知子 株式会社データホライゾン代表取締役 社長 内海 良夫 日本大学理工学部数学科 教授 吉開 範章	
16:10～16:15	成果報告へのことば	日本医療研究開発機構AMED プログラムスーパーバイザー 酒巻 哲夫
16:15～16:20	閉会のことば	広島大学病院院長・広島大学 理事 木内 良明
16:20～17:20	ネットワーキング	コーヒーとクッキー等をご用意いたします。参加者

お申込方法

事前に参加申込フォームよりお申し込みください
※定員100名様に達し次第、受付終了となります。予めご了承ください。

パソコンからお申し込みの場合

<https://aipom.hiroshima-u.ac.jp/sympo.html>

スマホ・タブレットからお申し込みの場合

右記 QR コードからアクセスしてお申し込みください。



お問合せ先

広島大学トランスレーショナルリサーチセンター

TEL:082-257-1976 (担当) 石橋、江口

shin1484@hiroshima-u.ac.jp

シンポジウム事務局 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号



令和 2 年 1 月 3 1 日

**広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター
キックオフシンポジウムを 2 月 8 日（土）に開催します**

広島大学歯学部は、本年度厚生労働省受託事業（歯科衛生士技術修練部門初度整備・運営による検証事業一式）の実施団体に採択されたことを機に、歯科衛生士の臨床能力向上と復職に関する支援及び離職防止の推進を図ることを目的に、2019 年 7 月に本学部の附属施設として「歯科衛生士教育研修センター」を設置しました。

このたび、センター開設を記念して、歯科衛生士の復職支援と離職予防に関するシンポジウムを開催します。再就職を希望する歯科衛生士の方、スキルアップしたい新人歯科衛生士の方、子育て中で歯科衛生士のお仕事から離れている方などのご参加をお待ちしております。

【日時】 令和 2 年 2 月 8 日（土）

【場所】 広島大学歯学部（霞キャンパス）
研究棟 B 1 階 第 6 講義室
（〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3）

●シンポジウム 13:00～16:00

基調講演

「歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く状況」

厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐 小嶺 祐子

講演 1

「歯科衛生士は一生の仕事！～新人歯科衛生士のデビューから
復帰まで応援します～」

公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井 典子

講演 2

「歯科衛生士総合研修センターにおける研修状況と課題」

東京医科歯科大学歯科衛生士総合研修センター 副センター長 品田佳世子

講演 3

「大阪歯科大学歯科衛生士研修センターにおける取り組み」

大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長 山本 一世

「広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター紹介」

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター センター長 竹本 俊伸

パネルディスカッション

●センター見学ツアー 16:00～16:30

【参加費】 無料 （参加申し込み不要）

【お問い合わせ先】

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター

TEL: 082-257-1953 FAX: 082-257-5945

E-mail: dhe@hiroshima-u.ac.jp

厚生労働省受託事業一

歯科衛生士技術修練部門初度整備・運営による検証事業一式

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター

キックオフシンポジウム開催



厚生労働省受託事業として、広島大学歯学部には歯科衛生士教育研修センターが開設されました。センター開設を記念して、歯科衛生士の復職支援と離職予防に関するシンポジウムを開催します。またセンターの見学ツアーも企画しています。

再就職を希望する歯科衛生士の方や、スキルアップしたい新人歯科衛生士の方、子育て中で歯科衛生士のお仕事から離れている方などお気軽にご参加ください。

日時 令和2年2月8日(土)

13:00～16:00 シンポジウム

16:00～16:30 センター見学ツアー

会場 広島大学歯学部第6講義室
(研究棟 B-1F)

参加 無料(申込不要)

後援:公益社団法人日本歯科衛生士会

本シンポジウムは、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度における特別研修(1単位)、認定更新生涯研修(3単位)に指定されています。



問い合わせ先

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター

TEL:082-257-1953 FAX:082-257-5945

E-mail: dhe@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/dent/about/>

Affiliated_Institutions/Center_for_Dental_Hygienists_Education_and_Training



広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター キックオフシンポジウム

日時:令和2年2月8日(土) 時間:13:00~16:30

会場:広島大学歯学部第6講義室(研究棟B-1F)

プログラム

13:00~16:00 シンポジウム

開会のあいさつ

広島大学歯学部

学部長 加藤功一

基調講演

歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く状況

厚生労働省医政局歯科保健課

課長補佐 小嶺祐子

講演1

歯科衛生士は一生の仕事！
～新人歯科衛生士のデビューから復帰まで
応援します～

公益社団法人日本歯科衛生士会

会長 武井典子

講演2

歯科衛生士総合研修センターにおける
研修状況と課題

東京医科歯科大学

歯科衛生士総合研修センター

副センター長 品田佳世子

講演3

大阪歯科大学歯科衛生士研修センターにおける
取り組み

大阪歯科大学

歯科衛生士研修センター

センター長 山本一世

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター紹介

広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター

センター長 竹本俊伸

パネルディスカッション

閉会のあいさつ

広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター

副センター長 内藤真理子

16:00~16:30 センター見学ツアー